

病院だより



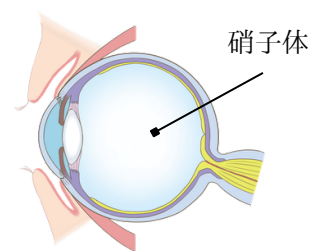
発行:公立福生病院 経営企画課 経営企画係 住所:東京都福生市加美平 1-6-1 <https://www.fussahp.jp>

硝子体手術開始のお知らせ

令和8年10月から硝子体手術機器による手術を開始します。

硝子体とは……

目の中には、「硝子体(しょうしたい)」という透明でゼリー状の組織があり、目の中の大部分を満たしています。水晶体の後ろから網膜の前まで広がる硝子体の変化や異常は、視機能に支障を及ぼします。



硝子体手術とは……

硝子体手術は、硝子体や網膜に起こった病気を治療するための手術です。病気によって硝子体が濁ったり、出血したり、網膜を引っ張ったりすることがあります。硝子体手術では、病気の原因となっている硝子体を取り除き、網膜の表面にできた膜や出血などを処置します。



当院で手術可能な疾患……

●黄斑上膜

網膜の中心にある「黄斑」の表面に膜ができる病気です。進行すると、ものがゆがんで見えたり、ものが大きく見えたり、視力が低下したりすることがあります。

●黄斑円孔

黄斑の中心部に穴が開く病気です。ものを見る中心部分に影響するため、視力低下や、ものがゆがんで見えるなどの症状が現れます。

●増殖糖尿病網膜症

糖尿病網膜症が進行した状態の一つです。網膜に異常な血管や増殖組織が生じ、硝子体出血や網膜剥離などを起こすことがあります。

●硝子体出血

目の中の血管から出血し、硝子体に血液がたまる状態です。出血の量や場所によって症状は異なり、急に視界がかすんだり、黒い影や煙のようなものが見えたりすることがあります。

●眼内レンズ脱臼

目の中にある水晶体、眼内レンズが、本来の位置からずれたり、眼内に落ち込んだりした状態です。ずれたレンズを取り出して新しい眼内レンズを強膜内に固定するための硝子体手術が必要になります。

白内障を合併している場合、硝子体手術と白内障手術を同時に行っています。

白内障手術や硝子体手術は、入院手術(局所麻酔)で行っており、日帰り手術や全身麻酔を要する手術には対応しておりません。

ベッドサイド端末に機能を追加しました

当院では、入院患者さんへの情報提供と医療安全の向上を目的として、ベッドサイド端末に機能を追加しました。

今回追加導入した機能（ピクトグラム等）により、

- ・電子カルテと連携し、患者基本情報、状態情報を表示することができます。
- ・病院スタッフ間や患者さんと情報共有をはかり、医療安全の向上と業務効率化につなげていきます。



※ピクトグラムとは

非常口マークのように、言葉を使わずに直感で意味が伝わる「絵文字」のことです。今回の追加機能では、「安静度」や「食事制限」などの大切な医療情報を表示します。文字を読む負担がなく、患者さんの状態や注意事項を一目で確認できます。



メイン画面から見る 3つの安全

①氏名の表示と非表示

名前表示で患者誤認を防止できます。また、必要に応じて、名前を非表示にすることもでき、プライバシーにも配慮しています。

②イラストとテキストで わかりやすい注意事項

患者さんそれぞれの注意事項を表示しています。また、「移動」、「安静」、「食事」、「排泄」、「貴重品」の5つの項目は、ピクトグラムで分かりやすく表示しています。

③スケジュール管理

入院中の検査、手術、リハビリなどのスケジュールを画面で確認することができます。「今日は何をするのか」という見通しが立ち、安心して入院生活を送っていただけます。

護送

同姓あり

コウリツ タロウ
公立 太郎 様

主治医 福生
本日 羽村
本日 瑞穂

内科

禁忌アレルギー+

車椅子

病棟内フリー

ポータブルトイレ
(介助)

食事介助

自己管理

注意事項

本日の予定

明日の予定

尿量測定中

装具使用中

アルコール禁止

手術

血液透析

リハビリ

検体検査

8月31日（月） 16:41

患者詳細

バイタル

名前非表示

Fussa 1. 1. 0. 3 ZDE0015 172. 27. 20. 77/24

他にもカレンダーや記録された体温や血圧などを確認することができます。
また、病院からの各種ご案内の表示機能の追加できるように準備を進めています。
これからも地域のみなさまに信頼される、安心・安全な医療の提供に努めてまいります。



デジタルサイネージ（電子案内板）の導入について



患者さんにより便利で快適に院内をお過ごしいただくために、この度、デジタルサイネージを10月14日（水）に導入いたします。

ご来院の際は、ぜひご覧ください。

設置場所

①エレベーター前



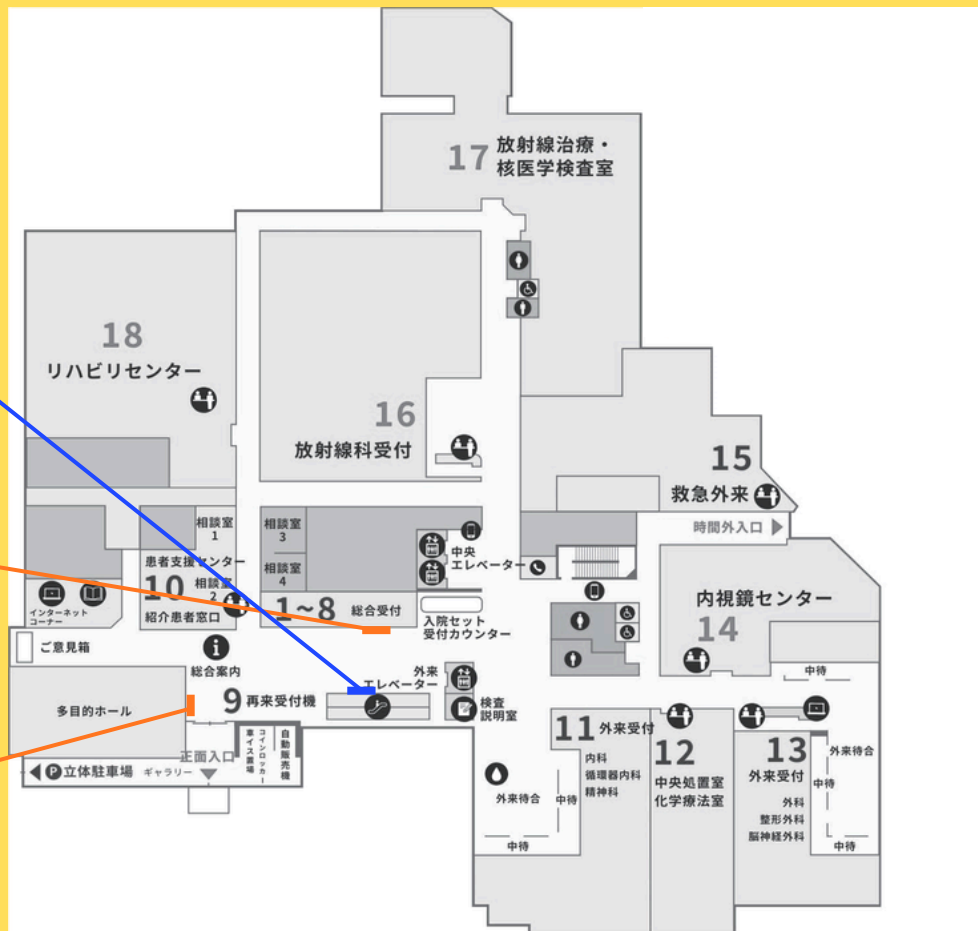
②精算機付近



③正面玄関入って左側



※写真は、イメージです。



機能の紹介

・連携医療機関検索機能

→地域や診療科目から、院内の連携医療機関を検索することができます。

・協賛企業広告

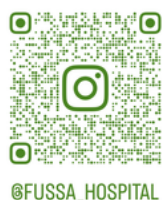
→連携医療機関や近隣事業者の情報を掲載いたします。

・病院周辺地図表示

→広告にご協賛をいただいた連携医療機関や事業者の所在地の他、主要なランドマーク等が地図上に表示されます。
また、避難場所等の施設情報についてもピクトグラムを採用し、表示します。



文責：経営企画課



○公立福生病院公式 Instagram

院内の様子や当院で働く職員の様子を発信しています。よろしければ、フォローをお願いします。

その不調、実はおくすりのせいかも？

年齢とともに持病が増え、複数の病院に通うことで、気づかないうちにお薬の全体数が増えてしまいがちです。「なんだか体調がすっきりしない…」と感じる背景には、お薬の影響が隠れていることがあります。



ポリファーマシーとは

“多くの”を意味する「Poly」、”調剤”を意味する「Pharmacy」からなる造語です。

多くのくすりを服用しているために、副作用を起こしたり、きちんとくすりが必要なくなったりしている状態をいいます。単に服用するくすりの数が多いことではありません。



ポリファーマシーによるリスク

副作用・相互作用が起きやすい

薬同士の飲み合わせ（相性）によって効果が出すぎたり、思いがけない症状が現れたりします。

飲み忘れ・飲み間違いが増える

飲むタイミングや包数が複雑になり、管理が難しくなって余ったお薬（残薬）が溜まる原因になります。

お薬が原因の不調

加齢によりお薬を分解・排出する力が落ちることで、体調不良を引き起こすリスクが高まります。

例）ふらつき・転倒、物忘れ・頭がボーッとする、めまい・立ちくらみ・強い眠気、食欲低下・便秘

気になる症状があったら

くすりが多い＝薬を減らすべきということではありません。

くすりによっては、急にやめると病状が悪化したり、思わぬ副作用が出る場合があります。必ず、かかりつけ医や薬剤師に相談をしてください。

きちんと相談するためにできること

☐ お薬手帳を持つ

自分の処方されているくすりがわかるように、お薬手帳を持ちましょう。

☐ 気になる不調を記録する

いつ頃から、どのような症状が出ているか、気になる症状は記録しましょう。

☐ 飲んでいる市販薬・サプリメントなどを把握する

処方薬以外に服用している市販薬・サプリメント・健康食品はきちんと把握しましょう。



福生病院での取り組み

当院では、入院時に **6種類以上の内服薬を処方している** 患者さんを対象に、医師、薬剤師、看護師など他職種で連携して処方を総合的に評価、調整をする取り組みを推進しております。

